

アスファルトの受発注における 業界慣習改善のお願い

2025年9月1日

一般社団法人 日本アスファルト協会
一般社団法人 日本改質アスファルト協会

1

アスファルトの受発注における業界慣習改善のお願い

2024年度 運送会社アンケート結果分析

日本アスファルト協会（以下、アス協）では、全国のアスファルト運送会社71社に対してアンケート調査※を実施しました。アンケート回答を集計した結果、以下の課題が明らかになりました。これらの課題を改善することは、アスファルト運送会社ならびにアスファルトローリー台数の減少を少しでも食い止め、アスファルトを安定供給するために不可欠であります。今後お届け出来ない事態を出来るだけ回避することに繋がりますので、改善に向けた取り組みをお願い申し上げます。※[アンケート調査概要（次ページ）](#)

■業界慣習改善要望内容

✓「確認オーダー」、「OKオーダー」を廃止して、「オーダー」に一本化

業界特有の「確認オーダー」は仮オーダーとして、「OKオーダー」は確定オーダーとして使われておりますが、一般的なオーダーである「オーダー」への一本化をお願いいたします。一部でキャンセル料導入、確認オーダーを受けない動きが見られております。

✓「オーダー」を1営業日前の午前中に確定していただくこと

アンケート調査結果では、2023年度アスファルト運送において年間3,000件を超える当日キャンセルが発生していることがわかりました。得られる予定であった運収を失い、ローリーの稼働機会を失います。しかし、人件費は発生します。物件によって1営業日前の午前中でのオーダーの確定にご協力をお願いいたします。

✓「オーダー」を午前フリー/午後フリーとしていただくこと

アスファルト運送会社は燃料等他製品輸送との兼業率83%ですが、アスファルト運送の場合は時間指定割合（全国平均65.5%）、その内の9時前納入の早朝割合（38.5%）は、軽油需要家配送データ（10-30%）と比べて非常に高くなっており、燃料ローリーの方が効率が良く、アスファルト輸送から燃料輸送ヘシフトしてしまうことが考えられます。

✓納入数量を出荷地台貫数量を基本とすること

製油所、基地、及び工場積み込み時の台貫数量で統一をお願いいたします。合材プラントなどの納入場所の台貫数量を採用する場合がございますが、双方の業務効率改善に繋げるため供給側との合意の上、最低でもどちらかに統一をお願いいたします。

2

2024年問題を受けて運送会社アンケートを実施

アスファルト運送会社に対して、
2024年問題も含め、アスファルト運送業界の現状および課題に関する実態調査を実施。
(調査期間：2024年8月29日～10月25日)

アンケート対象運送会社：

日本アスファルト協会会員25社から取引のある全国のアスファルト運送会社をノミネート。
合計78社 を調査対象とした。

アンケート結果集計・分析（100%の回答率）

78社のうち、4社はアスファルトから撤退、3社は他社と統合のため**71社の回答**を集計・分析。

ご回答いただいた運送会社様をはじめ、回答のお願いに関係した元売り会社様、販売店様の
皆さまのご協力に感謝申し上げます。

<アンケート調査から明らかになった課題>

1. 運送会社とローリー台数
2. 低稼働率の課題：当日キャンセル
3. 低稼働率の課題：納入時間指定

<アンケート調査とは別にアスファルトディーラーからあがった要望>

4. 出荷地台貫数量と納入地台貫数量が混在

一般社団法人 日本アスファルト協会

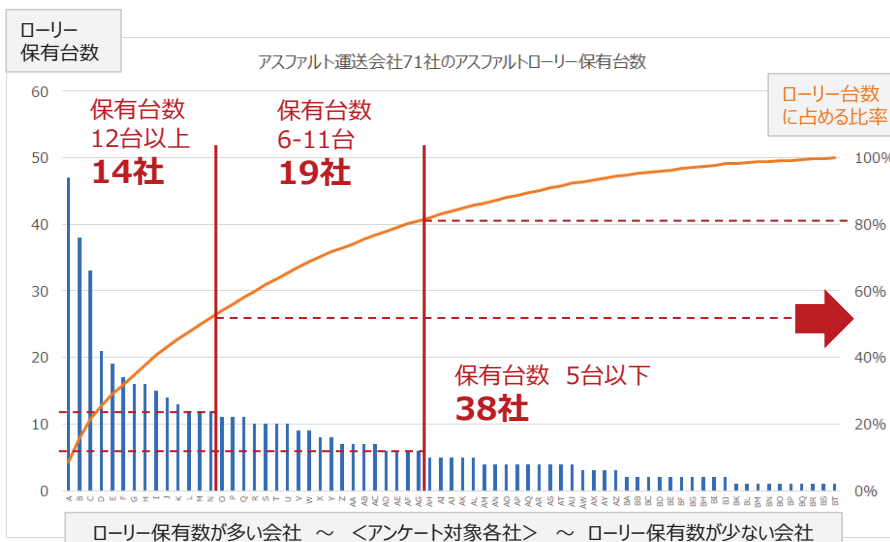
3

課題 1：ローリー台数/運送会社数

- 調査対象**71社**の合計アスファルトローリー台数は**547台**（他輸送との兼業会社は83%）
- 2008年には**約850台**、2017年には**約640台**から減少（アスファルトからの撤退もしくは廃業）
- ✓ 12台以上保有の運送会社14社で、アスファルトローリーの約50%を保有。
- ✓ 6～11台保有の運送会社は19社で、アスファルトローリーの約30%を保有。
- ✓ 5台以下保有の運送会社は38社で、アスファルトローリーの約20%を保有。

アスファルト輸送事業としては
小規模な運送会社が多い。

アスファルトの運送業界の概要（ローリー台数）



ローリーはアスファルト製品専用
ローリーとなり、1台3,000万円
以上の大きな投資となる。

他の石油ローリーは、タンク内に仕切り
板があり、複数油種・代替油種の輸送が
可能であるが、アスファルトローリーにはそ
れがないため、稼働への負担が大きい。

ローリー保有台数が12台以上の会社が
14社（約20%）で、全ローリー台数の
約50%を保有している。

逆に言うと、ローリー保有台数11台以下
の小規模の会社が全体の80%あり、ロー
リーの50%を保有している。

一般社団法人 日本アスファルト協会

4

課題2：低稼働率の課題：当日キャンセル

重要な課題：アスファルトローリーの稼働率は、他油種に比べて非常に低い状態にある

- **当日キャンセル** オーダー全体の約3%（確認オーダー/OKオーダーという業界固有の慣習）
年間で3,000件を超える当日キャンセルがある。また、年間で約2,400件は空車回送となっている。
当日キャンセルを少なくしていくために、納入側・購入側の双方での取り組みが必要
- **納入時間指定** 全国平均で約65%が時間指定（うち、約40%が9時前の早朝指定）
時間指定は地域差があり、午前午後フリー化が進んでいる地域もある。地域差が大きい

（対象：回答 当日キャンセル件数記載30社、空車回送記載27社）

＜参考：業界固有ルール＞

■確認オーダー

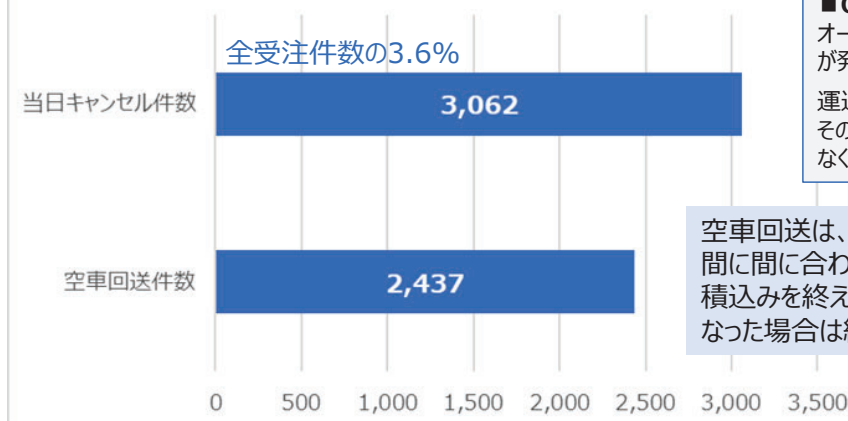
一応オーダーは入れるが、確定していない状態を言う。

■OKオーダー

オーダーとして確定することを言うが、それでも当日キャンセルが発生。

運送会社は遅くとも前日午後には配車計画を確定するため、その後にキャンセルが入っても、当該ローリーの稼働は単純になくなるだけとなる。

当日キャンセル・空車回送件数（全国）



空車回送は、確認オーダーのままで確定していないが、納入時間に間に合わないため、出荷地まで積込みに向かうこと、および積込みを終えて待機することを言う。仮に、当日キャンセルになった場合は納入先を別を探さなくてはならない。

一般社団法人 日本アスファルト協会

5

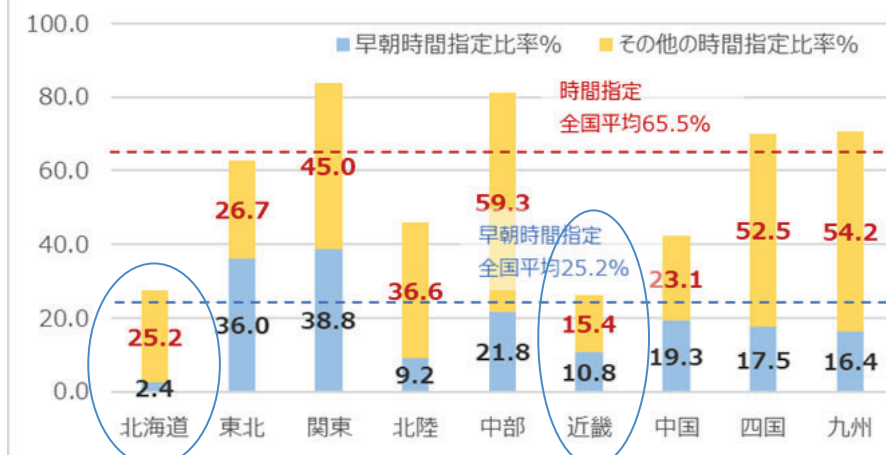
課題3：低稼働率の課題：納入時間指定

重要な課題：アスファルトローリーの稼働率は、他油種に比べて非常に低い状態にある

- **当日キャンセル** オーダー全体の約3%（確認オーダー/OKオーダーという業界固有の慣習）
年間で3,000件を超える当日キャンセルがある。また、年間で約2,400件は空車回送となっている。
- **納入時間指定** 全国平均で約65%が時間指定（うち約40%が9時前の早朝指定）
時間指定は地域差があり、納入の午前午後フリー化が進んでいる地域もある。地域差が大きい
【早朝納入】の削減、【納入時間の午前午後フリー化】を進めて頂きたい

（対象：回答 時間指定55社/452台、早朝時間指定59社/465台）

時間指定・早朝時間指定比率%



全受注の中で時間指定の割合が65.5%と大きく、中でも早朝時間指定が全時間指定の中の約4割（時間指定オーダーの中の38.5%、全受注の中の25%）と割合が高いことがわかった。地域（運送会社所在地）によって、時間指定割合の差は大きく、時間指定の中で早朝納入（9時前の納入）は東北、関東地区が高く、早朝に偏っていることがわかった。

参考）

産業用燃料ローリー/軽油配送のデータでは、時間指定割合が10～30%で、全時間指定の中の早朝時間指定割合が20%程度。

地域は、運送会社の本社所在地を基準に集計しているため、実際の地域差とは異なるが、傾向としては読み取れる。

一般社団法人 日本アスファルト協会

6

課題4：出荷地台貫数量と納入地台貫数量が混在

重要な課題：台貫数量によって納入数量を確定させるが、一部の合材プラントでは出荷地側台貫と納入地側台貫の混在。台貫数量の少ない方を採用するという方式をとっている合材プラントがあり、その場合には配送のたびに出荷地側台貫と納入地側台貫による数量を比較して選定するため、煩雑、且つミスを生む状況である。

台貫数量 殆どのアスファルト納入において、製油所、二次基地などの出荷地側で、アスファルトローリーの空車重量と積込み後重量を台貫にて測定し、その重量差を納入数量として、経理処理している。一部の合材プラントでは、荷卸し前と荷卸し後の重量を台貫にて測定し、その重量差を納入数量として、経理処理している。その中の一部の合材プラントでは、1回ごとの配送において少ない方の数量を採用している。

- ① 出荷地側（積込み時）の台貫数量を採用
- ② 納入地側（荷卸し時）の台貫数量を採用
- ③ 上記の①、②の少ない方の台貫数量を採用

基本的に①を、やむを得ない場合には②とする。双方の効率改善のため、③の採用はやめて頂きたい

（法的規格に定められた通りの方法と期間において、適切な台貫の検査を受けなければならない）

まとめ

アスファルトの中長期安定供給に向けて、アスファルト運送（ローリー、運送会社）を維持することが重要です。
そのために、以下の業界特有の課題解決をお願いいたします。

物流体制の維持のため。

- 「確認オーダー」、「OKオーダー」を廃止して、「オーダー」に一本化
- 「オーダー」を1営業日前の午前中に確定していただくこと
- 「オーダー」を午前フリー/午後フリーとしていただくこと
- 出荷地台貫数量を基本とすること

アスファルトの中長期安定供給に向けて、関係の皆様のご支援、ご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。